

感染症発生状況

平成31年2月26日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成31年2月18日（月）～2月22日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】427名 【職員】41名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】85名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数98名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（126名）、咳・鼻水（50名）、下痢・腹痛（39名）、嘔気・嘔吐（37名）

疾病別：インフルエンザ（85名）、溶連菌感染症（31名）、胃腸炎（27名）、手足口病（13名）

【職員】症状：熱（2名）、頭痛（2名）、下痢・腹痛（2名）

疾病別：インフルエンザ（20名）、胃腸炎（13名）

**インフルエンザの減少、ウイルス性胃腸炎が増加、溶連菌感染症の増加、手足口病が見られます。
今後、インフルエンザB型に注意しましょう。
職員のインフルエンザ対策が必要です。**

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山、厨川、河北、河南、都南地域で減少。盛南地域で増加しました。

溶連菌感染症 盛南、河南、都南地域で増加しました。

胃腸炎 河北地域で減少。厨川、盛南、河南、都南地域で増加しました。

手足口病 河北地域で増加しました。

【県の状況（2/11～2/17）】

インフルエンザは、前週より減少しましたが、二戸地区では増加し警報値（定点あたり患者数30人）を超えました。久慈地区を除く8地区でも注意報値（同10人）を超えているので、引き続き注意が必要です。予防にはこまめな手洗いや体調管理、咳エチケットによる感染予防のほか、医療・福祉施設へのウイルスの持ち込みを防ぐため、症状がみられる場合は訪問を自粛するなどの対策が重要です。

感染性胃腸炎は盛岡市でノロウイルスによる集団感染事例が2例報告されました。予防には十分な手洗い、患者の吐物や便の適切な処理が重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は減少しましたが、久慈地区では2週続けて警報値（同2人）を超えています。妊婦の方は感染すると胎児に影響することがあるので注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】